

教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成25年7月23日（火）午後2時30分～午後4時30分

2 場 所 伊東市役所 4階中会議室

3 出席者 1番 杉田 純子君 2番 佐藤 潤一君

3番 上村 昌延君 4番 田中 智海君

5番 内山 義夫君

4 参 与 教育部長 鶴田 政利 次長兼教育総務課長 萩原 博

教育指導課長 小田 靖久 幼児教育課長 泉 將好

生涯学習課長 堀井 裕三

5 事務局 教育総務課課長補佐 山下 匡弘 主事 日吉 直樹

6 会議の経過

委員長：ただ今から、伊東市教育委員会7月定例会を開会します。それでは、はじめに教育長の報告をお願いします。

内山教育長：「伊東市教育委員会7月定例会教育長報告事項資料」に基づき次の事項について報告を行う。

6月22日 子供お能教室修了証書授与式

23日 津軽三味線・小山寿香会

24日 東豆中体連理事長来庁、門野中性教育授業参観、市組合交渉

25日 市議会最終本会議、管理主事訪問（池小）

26日 管理主事訪問（南中）

27日 楽しく学ぶ子育て講座挨拶、荻幼稚園訪問

28日 静教組東豆支部長来庁、新日本婦人の会要望

山本悟社会教育指導員退職辞令交付、市史編さん委員会

30日 伊豆フィル定期演奏会

- 7月 1日 あいさつ運動、市町教育委員・県教育委員意見交換会
齊藤克子社会教育指導員任命
- 2日 東部教育委員長・教育長会
- 3日 管理主事訪問（南小、富戸小）、青少年補導センター研修会
- 5日 校長会（東小）
- 6日 アメリカPTPIホームステイ歓迎式、市町駅伝練習開始
- 9日 管理主事訪問（八幡野小）
- 10日 川奈幼稚園訪問
- 11日 夏の交通安全県民運動一斉街頭広報
- 12日 スクールコンサート鑑賞（東小）
- 14日 拓本コンクール表彰式
- 16日 都市教育長研修会
- 17日 市P連理事会・懇親会
- 18日 文化財審議委員会
- 19日 伊東温泉つつじ祭り俳句大会表彰式、校長会幹事来庁

その他として、土地家屋調査士の田畑優樹氏より市内小学校へ「じめんのボタンのナゾ いちばんえらいボタンをさがせ」11冊を寄附いただいた。

指導主事のあり方について、県としては増資する場合の指導主事の財源も含め各市町で対応して欲しいというスタンスだが、各市町の教育委員会では、市町に任せてしまうと財源がある市町は増資できるが、そうでない市町では増資しきれず、教育にへき地を生む可能性があるので慎重に進める必要があると考える。

もう1つの問題は、再任用制度であり、再任用による教員が増加すると

新任教員の採用枠が減少してしまうので、その辺りも考慮しなければならない。

管理主事訪問についてだが、全ての学校が落ち着いた雰囲気の中で授業がされていた。しかし、全ての児童・生徒が意欲的に取り組んでいるかは疑問である。また、学校の特色を出そうとしているという意識は感じられた。

また、校内人事は非常に重要であり、上手な人事により環境を改善している学校も見られた。

委員長：ありがとうございました。ただいまの教育長報告について何か意見、質問はございますか。

委員：薬物に関しての対応をしっかりと欲したい。

内山教育長：薬学講座を実施している。

委員：一生の問題であるので徹底して実施して欲しい。

委員：広島でのLINEの問題もあるので、再度注意喚起をして欲しい。

小田教育指導課長：ネット関係（LINE）に係るトラブルは増加しているので、保護者へのプリントは随時作成し啓発している。

委員長：性教育について学校側の見地と病院側の見地とでは相違があるとは思いますが、事前の話し合いにより解決できないのか。

内山教育長：事前の打ち合わせは数回にわたり実施しているが、それでも認識の違いが出てきてしまう。病院側はしっかりとした事実を教えたいと考えるが、思春期の子どもは興味本位になりがちである。その問題を解決することが難しい。

委員長：何年生に実施したのか。また、女子と男子に分けて実施しているのか。

内山教育長：中学３年生に男女混同で実施したが、本来であれば男女別で実施したいが、時間の問題で今回は一緒に実施した。

委員長：時間が取れないのはよくわかるが、性教育は大事なことで、より力を入れて実施して欲しい。

委員：もう少し早い時期に教えた方が素直な気持ちで聞けるかと思うがいかがか。また、時間が取れないとの話があったが、伊東として独自で時間を取って男女別に実施して欲しい。

小田教育指導課長：小学校５年生から性教育を実施している。

委員：５年生では遅いと思う。伊東独自の体制として１年生くらいで実施してはいかがか。

委員：家庭にもどの程度の状況で教えているのかを周知してはいかがか。そういう情報があれば保護者としても対応し易いかと思うので検討して欲しい。

小田教育指導課長：看護師としては命を大事にしなければならないという目線で話しをするが、学校側は休み中の性犯罪の防止を重点的に実施したい。目線を統一するのは非常に難しい。

委員長：両方正しいが、難しい問題だと思う。その他何かありますか。

（意見・質問なし）

それではその他の事項に移ります。「平成２４年度伊東市教育委員会自己点検・評価報告書の作成について」説明をお願いします。

（鶴田教育部長及び事務局から資料に沿って説明）

委員長：ただいまの説明につきまして意見、質問はありますか。

委員：ＡＢＣＤよりも点数方式の方がわかり易いと思う。次に続くという意味でも良いと思う。他市町の実施方法もわかっていない状況もある

ので、情報収集をした上で伊東独自のものを作っていただきたい。

鶴田教育部長：県内のものはほぼ同様である。しかし、富士市などは専門の部署により作成しているので詳細なものとなっている。同様なものを作ると事務局の負担が非常に大きくなってしまう。ただ、参考になる市町もあると思うので資料を集めて検討したい。

委員長：その他何かございますか。

（意見・質問なし）

次に「私立幼稚園の視察について」説明をお願いします。

（鶴田教育部長及び事務局から資料に沿って説明）

委員長：ただいまの説明につきまして意見、質問はありますか。

（意見・質問なし）

次に「市議会 6 月定例会補正予算について」説明をお願いします。

（鶴田教育部長及び事務局から資料に沿って説明）

（意見・質問なし）

続きまして、「各課からの報告」に移ります。説明をお願いします。

萩原次長兼教育総務課長：教育総務課の報告をする。

学校給食調理業務等民間委託事業は詳細な詰めが残っており、仕様書の内容を作成している状況である。また、配送車に合った食缶の規格等も検討中である。レクトンは 8 月 5 日から東小に入り準備を進める予定である。

委員：川奈小での食事後の食器は再度回収に行くのか。

萩原次長兼教育総務課長：川奈小に配送した職員が、現地で昼食を摂り、回収して帰ってくる行程となっている。

委員：親子方式による給食初日には誰かが行き、一緒に食事を摂るのか。

萩原次長兼教育総務課長：予定はしていない。

委員長：その他何かございますか。

小田教育指導課長：教育指導課の報告をする。

6月の子ども達の問題行動等については、昨年度比で小学校の問題行動は減少したが、中学校においては増加してしまった。原因としては、家出や不健全非行が増加したものと考えることが出来る。また、ネットトラブル等も発生しているため、問題行動の傾向が変わってきていることがわかる。

いじめの報告については、昨年度より増加している。解消に向けて関係者へアプローチをしている段階である。重篤なものとならないよう慎重に対応していきたい。

委員：小学生のネットトラブルに関してはどう考えるか。

小田教育指導課長：ネットに関しては以前とは違い、年齢や地域の違いが関与しない問題となっており、わかり難い問題である。

その他として、県費負担教職員の給与削減が実施される予定であり、9月から開始される。

また、適応指導教室のなぎさが2学期から旧広野分遣所に引っ越しをする。引っ越しは8月2日に実施する予定である。

委員長：その他何かございますか。

泉幼児教育課長：幼児教育課の報告をする。

伊東幼稚園と湯川分園の統合については、予定していた説明会が全て終了し、子どもにとって良い教育環境を目指していく方向性を以って統合したい考えを、概ね理解していただいたものと考えている。そこで平成26年度当初からの両園の統合についての最終確認として、教育委員

会の意見を確認をしたいがいかがか。

委員長：このことについて意見等ございますか。

（異議なし）

その他何かございますか。

堀井生涯学習課長：生涯学習課の報告をする。

前回実施したあいさつ運動については、事前にプレ運動を実施していたこともあり、本番では問題なく実施できた。秋のあいさつ運動も同様に実施していきたい。

今後は7月末からふるさと教室のキャンプや少年の船等を実施する。

委員長：今後の日程について確認します。

8月の定例会については8月26日（月）午後2時30分から

9月の定例会については9月27日（金）午後2時30分から

委員長：ご苦労さまでした。以上で伊東市教委員会7月定例会を終了します。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

委員長 杉 田 純 子

委 員 佐 藤 潤 一

書 記 日 吉 直 樹